

平成30年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学校目標
1	八戸	「前向きにねばり強く取り組む子」
2	城下	「意欲的に学習に向かう態度の育成」
3	吹上	「筋道を立てて考え、説明する力を高める」
4	長者	「聞く力の育成 ～聴く・理解する・訊く力を育む～」
5	函南	「進んで考え、共に学び合う力の育成」
6	中居林	「他者とかかわり自尊感情を高める」
7	柏崎	「『問いをもち、ねばり強く学び続ける柏っ子の育成』 ～やる気・根気・勇気、そして元気！～」
8	小中野	「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」
9	江陽	「成長や前進を実感できる児童の育成」
10	湊	「『湊の子を育てる』 ～基礎学力定着のための工夫と保護者・地域との連携の工夫を通して～」
11	青潮	「心も、頭も、体も、たくましく」
12	白銀	「学習と生活における基礎・基本の定着を図る」
13	白鷗	「『自分のよさを発揮して、みんなとよりよい生活を築く子』の育成」
14	白銀南	「授業の充実と望ましい学習習慣・生活習慣の形成」
15	町畑	「聴く・話す のスキルを高める」
16	美保野	「対話の基礎力の向上」
17	鮫	「『やり抜く力』を伸ばす」
18	種差	「主体的に活動する子どもの育成 ～キャリア教育の視点を生かした教育活動を通して～」
19	大久喜	「文章を読み取る能力の向上を図る」
20	金浜	「伝え合う力を育てる」
21	根城	「『活力と規律』ある行動を主体的に体現できる児童の育成」
22	白山台	「自分の思いや考えをはっきりと話す子どもの育成」
23	西白山台	「『学びの基礎力を育む』 ～学習習慣の育成による基礎・基本の定着～」
24	江南	「子どもの自己有用感を高め、主体性を育む」
25	田面木	「自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成」
26	下長	「豊かに伝える力の育成」
27	城北	「自分に自信をもって学習や活動に取り組む子の育成」
28	高館	「相手を思いやる言葉づかいができる子を増やし、みんななかよしの学校にする」
29	根岸	「『いきいき・はきはき・パワーアップ根岸』 ～意欲的・主体的な学びの実現～」
30	日計ヶ丘	「主体的に行動する児童の育成」
31	是川	「読書でパワーアップ」
32	三条	「コミュニケーション能力の向上」
33	西園	「他者との関わりで自己肯定感の育成を図る」
34	明治	「『聞く力・話す力・つなげる力の育成』 ～集団解決の場を通して～」
35	桔梗野	「言葉を身に付け、豊かに表現し、すすんではたらく子の育成 ～すすんではたらこう 学んだことばで表現しよう～」
36	轟木	「どの子も、どこでも誰とでも、自分の意見や考えを話せる子どもの育成」
37	多賀	「自分の考えを伝え合い学び合う力の育成」

38	多賀台	「声を響かせる子どもの育成」
39	豊崎	「友との対話を通して、互いの考えを深め、議論できる子」
40	新井田	「『集団の中で、お互いを認め合い支え合える、思いやりのある子』の育成」
41	旭ヶ丘	「生き生きと学び・活動する子どもの育成Ⅲ」
42	南郷	「自分の考えをはっきりと言える子の育成」
43	島守	「個に応じた指導を充実させ、基礎・基本を確実に定着を図る」

【中学校】

No.	学校名	学校目標
1	第一	「気付き、考え、判断したことをもとに、進んで学んだり実行したりできる生徒の育成」
2	第二	「たくましい生徒の育成 ～得意を伸ばし苦手を克服」
3	第三	「『確かな学力の育成を図る』 ～特別支援教育の視点を生かした主体的な学びを通して～」
4	長者	「基礎・基本となる授業規律の確立」
5	小中野	「他との関わりの中で、自己肯定感がもてる生徒の育成を図る」
6	江陽	「特別支援教育の視点を取り入れ、全員が参加する授業で基礎学力の定着を図る」
7	湊	「文武両輪とそれを支える絆シャフトの取り組みにより『互いに成長し合えるコミュニケーション能力の育成』」
8	白銀	「『点から線へ』 ～学んだ基礎力を活用しようとする生徒の育成～」
9	白銀南	「『主体的に学び、自分の考えを表現できる生徒の育成』 ～自分の意見を自分のことばで表現できる生徒～」
10	鮫	「『言語活動の活性化』 ～聞く、話す、読む、書く～」
11	南浜	「夢や希望に向い、自信をもって主体的に取り組む生徒の育成」
12	根城	「安心感のある環境のもと主体的に学ぶ生徒の育成」
13	白山台	「共に学ぶ力の育成」
14	下長	「認め合い 支え合い 高め合いながら活動に主体的に取り組む生徒の育成」
15	北稜	「主体的・能動的に学び・活動する生徒の育成を図る」
16	是川	「何事にも目標をもち、意欲的に取り組む生徒の育成」
17	三条	「何事にも主体的に取り組む生徒の育成」
18	明治	「『夢をもち 学び 鍛え合い 向上心をもって取り組む生徒の育成』 ～気づき・考え・行動 そして感動～」
19	市川	「文武両道の実現をめざし、ねばり強く活動する生徒の育成」
20	豊崎	「学び合いを通して、活用する力を育てる指導の工夫」
21	大館	「なりたい自分を目指して、自らを高める生徒」
22	東	「自己実現に向けて主体的に取り組む生徒の育成」
23	中沢	「一人一人の持ち味を輝かせることで自己有用感を育成する」
24	島守	「目標達成を目指して学習や諸活動に主体的に取り組む生徒の育成」

平成30年度 学校評価の実施結果（概要）

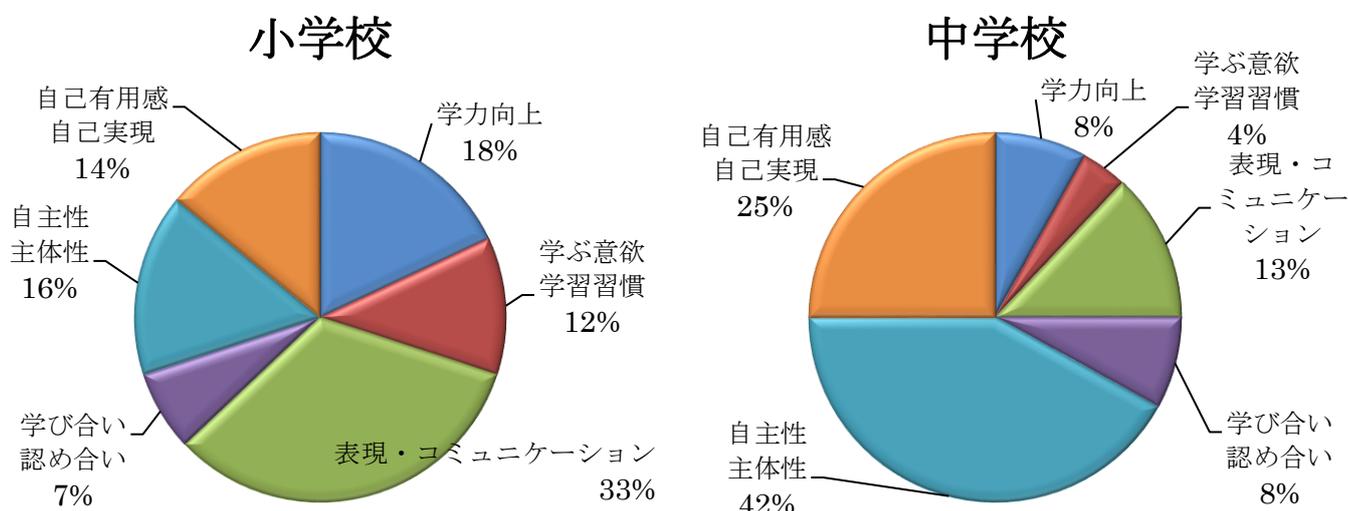
今年度も市内各小中学校では、学校評価を実施しました。学校評価は、教育活動、その他の学校運営の状況について、児童・生徒、保護者に対する学校評価アンケートをもとに教職員による自己評価、学校関係者評価を実施し、その結果に基づき学校運営の改善を図るとともに、学校・家庭・地域社会の連携による学校づくりを進めることを目的としています。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校評価を報告することとしました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

1 各校の学校目標の設定状況について

- ・各学校では、学校評価の様々な項目の中から、前年度の学校評価結果及び児童・生徒の実態等を考慮し、今年度、特に重点を置いて達成を目指さず項目を学校目標として設定し、教育活動に取り組んでいます。
 - ・市内小中学校全体の状況は、自主性・主体性に関する内容29%、表現・コミュニケーションに関する内容23%、自己有用感・自己実現に関する内容20%、学力の向上・定着（基礎・基本の定着，思考力等）に関する内容13%、学ぶ意欲・学習規律に関する内容8%、学び合い・認め合いに関する内容7%となっていました。
- なお、小中学校別の割合は、下記の通りとなっています。



2 達成状況について

(1) 学校目標の達成状況

- ・各学校で設定した評価基準に対し、4段階で評価しています。

① 市内中学校の学校目標の達成状況



② 市内中学校の学校目標の達成状況

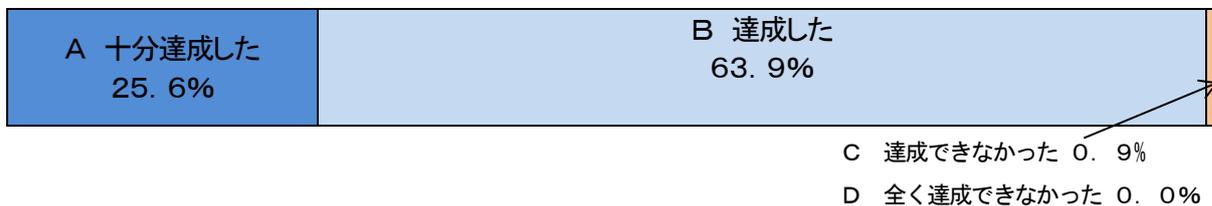


- ・ 小・中学校ともA、Bを合わせる90%以上となり、今年度の学校目標をおおむね達成したと評価しています。

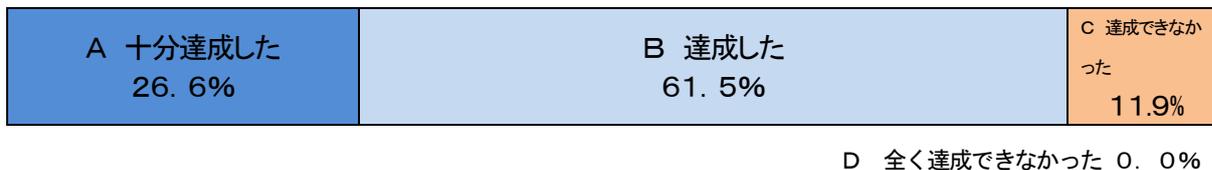
(2) 重点施策の達成度状況

- ・ 学校目標の達成に向けて、各学校では、2～7項目の日常的に取り組む方策(重点施策)を設定し、その達成状況を評価基準に照らして評価しました。

① 市内小学校の重点施策評価の集計結果



② 市内中学校の重点施策評価の集計結果



- ・ 小学校、中学校とも「A十分達成した」「B達成した」と評価された項目が多くあるが、「C達成できなかった」と評価された項目もある。「C」の項目を減らすとともに、「B」で満足せず、「A」の項目を増やしていけるよう、今後の改善方策を検討することが望まれます。
- ・ 特に「C」の項目については、その要因がどこにあるのか(教職員の共通理解なのか、評価の基準なのか、施策なのか等)を明確にして、次年度へ引き継いでいくことが望まれます。

3 今後の取組

各学校においては、学校評価の結果を真摯に受け止め、学校運営を見直し、次年度の教育課程を編成しています。児童・生徒がよりよい学校生活を送れるよう、引き続き、学校・家庭・地域社会が連携を図りながら、教育水準の保障・向上に努めていくことが必要です。